

## 桂キャンパスの通学について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017年2月3日）

先月中旬に京都市内で大雪が降ったことはご承知のことかと思えます。

この際ですが、国道9号線から桂キャンパスにかけて登る坂（以下、桂坂）も多くの降雪量があり、特に学生が多く利用する（登る方向に見て）左側の歩道では、坂の構造上日陰となっているため、凍りついた雪が一週間弱残っており大変危険な状態となりました。この天候に関しては、1月16日に教職員に特別休暇申請を受け付ける旨Aクラスター庶務掛から通知が出たと伺いましたので、桂坂の危険性については事務の方々もご承知のことだったようです。このような場合に公共交通機関を利用すべきであることは理解できます。しかし、桂キャンパスに所属する4回生および大学院生は、2月に卒論発表や修論発表を控えており、どうしても終バスまでに帰宅する都合をつけられない場合もあったかと思えます。また、家計の事情から少しでも節約したいと考えれば、徒歩で通学したいと考える者もいると想定されます。

桂坂は途中に民家がないため、その区間の歩道は雪かきもされず放置されておりました。このような場合に、大学事務から何か対応していただけないものかと思い、今回の投稿に至った次第です。友人に聞きますと、私立大学の事務職員が役所に出向き、融雪剤を受け取っている例はあるようです。よろしくお願いいたします。

【回答】（回答日：2017年3月17日）

（桂地区（工学研究科）事務部）

京都市に相談したところ、「桂坂には既に複数個所に融雪剤が設置されており、他の市道と同じく利用者により散布してもらっている。」との回答でしたが、本研究科としては、学生からのご意見、ご要望を踏まえ、京都市に対し、更に危険防止への対応等要望したいと思っております。

ただし、融雪剤は水と反応して雪を融かすものですが、夜中など気温が下がると効果が出ない可能性があるほか、道路が凍結する原因にもなります。そのため、雪の日や夜遅くなる場合は、ご自身でも滑り止めのある靴を履くなど身を守る措置をお願いいたします。

このたびは、貴重なご意見ありがとうございました。